

## 青森県

# 三沢市

蘇ったミス・ビードル号～飛べ!市民の夢をのせて～  
～夢の実現を目指した日米市民の協力～



青森県三沢市政策財政部国際交流課

### 三沢市の概要

三沢市は青森県の南東部に位置し、東は太平洋、西は小川原湖に臨んでいます。東西約11km、南北約25km、面積約120.08km<sup>2</sup>の平坦地で、世界的に重要な湿地としてラムサール条約に登録された「弘沼」をはじめとする豊かな自然に恵まれています。

古くから馬産地として栄えた県南にあって、三沢市域は江戸時代には藩政牧場の「木崎野牧」に含まれ、人々は馬産や漁業に携わっていましたが、太平洋戦争後に旧日本海軍飛行場が米軍三沢基地となり、以来三沢市は大きく変貌しました。

現在は全国有数の航空施設がある大空のまちとして、約4万3,000人の人口に加え9,000人弱の米軍人、軍属およびその家族が暮らし、異国情緒漂う国際都市として独自の発展を続けています。

### 三沢発「世界記録」の誕生

1931年10月4日。米国人飛行家クライド・パングボーンとヒュー・ハーンダンの二人は、太平洋無着陸横断飛行に挑戦するため、単発エンジン・単葉機のミス・ビードル号に乗り込み、太平洋に面した青森県三沢村（現三沢市）の淋代海岸<sup>さびしろ</sup>を出発。幾多の困難を乗り越え、約4,900マイル（7,847km）をノンストップ飛行、41時間10分後に米国ワシントン州ウェナッチ地区に到着しました。この瞬間に彼らは、世界初となる太平洋無着陸横断飛行記録を樹立、その名を永遠に航空史に

刻むこととなりました。

成功の陰には三沢住民の存在が大きく関わっていました。飛行機が滑走しやすいようにと砂地につくった滑走路の上に厚い杉の板を敷き並べたほか、燃料の輸送から機体の整備、宿泊の世話に至るまで、ミス・ビードル号の成功を祈り献身的に支えました。

### ミス・ビードル号が結んだ日米の絆

ミス・ビードル号が太平洋無着陸横断飛行に成功してから50周年にあたる1981年、出発地である三沢市は到着地であるウェナッチ市と姉妹都市を締結、さらに70周年にあたる2001年には、ウェナッチ市とコロンビア川を隔てて隣り合わせた東ウェナッチ市（現地では両市を「ウェナッチ・バレー」と称しています）と姉妹都市を締結しました。ウェナッチ・バレーではワシントンの州祭である“りんご花祭り”が毎年5月に開催され、中学生を中心とする親善使節団がこのグランドパレードにあわせて派遣されます。またウェナッチ・バレーからは8月に三沢市で行われる国際サマーフェスティバルにあわせて来日し、それぞれホームステイをしながら日米親善を深めています。

このように三沢市の姉妹都市交流は、地域の活性化や経済効果を主目的とした交流ではなく、歴史的背景のもと人と人との交流に重きをおいています。

## 復元機の製作

1999年、ウェナッチ・バレーのボランティア団体「スピリット・オブ・ウェナッチ」は、ミス・ビードル号を復元し当時のルートの再現飛行を行うという壮大なプロジェクトを計画しました。当時の設計図がないまま進んだこのプロジェクトには三沢市のみならず全国からたくさんの支援金が集まり、開始から4年の歳月を要した2003年3月、ついにミス・ビードル号は復元機として蘇りました。

しかし時同じく勃発したイラク戦争による世界情勢の悪化、機体のトラブル、そして飛行に必要な資金の不足など、さまざまな理由から再現飛行の実現は困難を極め、2006年、米市議会はついに再現飛行の中止を決定しました。



写真2 アメリカを飛行する「ミス・ビードル号」復元機(スピリットオブウェナッチ提供)

## 三沢の地へ

日本の航空史100年にあたる2010年、復元機の誘致に取り組んだ三沢市と「ミス・ビードル・フライト実行委員会」は、同年9月に行われる三沢基地航空祭での飛行を目指しました。飛行に必要な諸手続は終えましたが、機体の輸送が実施直前でできなくなったことから、来日そして飛行は断念せざるを得ませんでした。

しかし同年11月、スピリット・オブ・ウェナッチの協力により輸送が実現。12月1日、太平洋を渡った復元機はとうとう三沢の地へ降りました。

### ミス・ビードル号(復元機)の概要

型式	BELLANCA CH300 REPLICA	機体長	約8.5m
登録年月日	2003.3.11	機体高	アンテナあり 約3.2m
登録記号	N796W		アンテナなし 約2.6m
所有者・製作者	SPIRIT OF WENATCHEE	プロペラ	約2.8m
製作期間	4年(2000年～2003年)	翼長	約7.1m
飛行時間	約600時間	翼幅	約2.1m
燃料タンク容量	753 gal(約2,850ℓ)	両翼	約15.0m
最高出力	450hp	空重量	約1,444kg

現在は県立三沢航空科学館へ搬入され、フライトまでの間一般展示されています。

## 夢の実現

今年は太平洋無着陸横断飛行から80年、姉妹都市ウェナッチ市と東ウェナッチ市とは、それぞれ締結30年と10年を迎える記念すべき年です。今年は15名の中学・高校生を親善大使として5月に派遣します。8月にはウェナッチ・バレーからの使節団を迎え盛大な三沢まつりが開催されます。特に今年は、8月18日(木)に実施する復元機のメモリアルフライトをはじめとするさまざまな記念行事や、9月の三沢基地航空祭において、復元機のラストフライトを行い、ぜひ全国航空ファンの皆様と一緒に祝いしたいと考えています。

三沢市・ウェナッチ市・東ウェナッチ市は、歴史に基づいた良好な姉妹都市関係そして日米関係がいつまでも続くことを願っています。

## 主な国際交流イベント

時期	イベント名	概要
4月	ジャパンデー	市内外国人に日本の文化を紹介するイベント(華茶道・着付・琴・武道・和太鼓など)
6月	アメリカンデー	米国の風習・文化・スポーツを紹介するイベント
7月	小川原湖湖水まつり	小川原湖クィーンが日米から選出
7月	みさわ七夕まつり	日米参加者によるダンスコンテストなど
8月	三沢まつり(4日間)	山車(だし)パレードに日米多数参加
8月	三沢国際サマーフェスティバル	三沢まつり3日目、お御輿パレードなど
10月	ハロウィンフェスタ in MISAWA	日米ハロウィン仮装コンテスト
3月	国際子どもアイスフェスティバル	氷上での日米交流
通年	語学講座(英語、日本語ほか)	市民向けの外国語講座、外国人向けの日本語講座
通年	異文化理解教育講座	三沢米軍基地の軍人とその家族に三沢を紹介
毎月	シティニュースの発行	外国人向け広報誌



写真1 アメリカンデーで行進するアメリカ人たち